

令和3年度

社会福祉法人 足柄緑の会

事業計画

NO	項目	ページ
1	社会福祉法人足柄緑の会	1～5
2	コスモス学園中沼ジョブセンター	6～10
3	生産事業部（コスモス学園中沼ジョブセンター）	11～13
4	コスモス学園中沼ケアセンター	14～17
5	居宅介護事業所それいゆ	18～19
6	コスモス学園松田センター	20～25
7	相談支援事業所あすなろ	26～27
8	コスモスホーム	28～30
9	年間予定表	31～32

1. 社会福祉法人足柄緑の会

法人基本理念

私たちは一人ひとりの利用者が、
一人の人として究極の幸せを得られるよう支援します。

基本方針

1. 私たちは、常に利用者一人ひとりの「安心して過ごしたい、人の役に立ちたい」という人間としての基本的欲求を満足できるよう、質の高いサービスを提供します。
2. 私たちは、職員一人ひとりが安心して仕事に従事できるよう、適切な処遇、必要な教育訓練、働く環境整備に努めます。
3. 私たちは、地域社会の福祉課題、共生のための課題を積極的に掘り起こし、取り組みます。
4. 私たちは、自立した組織体として、無駄のない効率的な経営を行います。

毎年、我々が、やるべきこと、やらねばならないことは、法人基本理念・基本方針にすべて集約されています。年度の初めに、再度確認しましょう。

初めに、今年度理事長がやるべきことを、所信として、具体的に述べます。

平成9年1月、初代井上理事長のもと当法人が設立され、その後平成20年5月に、林理事長が2代目として就任されました。そして、12年を経て、令和2年11月、理事長が交代しました。

この間皆さんの努力により、法人の規模は大きくなり、地域にはなくてはならない障害福祉サービスの拠点となりました。ここに至る過程では、様々な問題がありましたが、その都度これを解決し、乗り越えてきました。

さて、規模が大きくなればなるほど、何もしなくても組織は動いて行くものです。しかしながら、それでは職員の皆さんのモチベーションは向上せず、法人としての成長はありません。

理事長交代を機に、当法人の現状の課題、問題点を洗い出します。これは、建物、車両、機械装置などのハード面、そして、組織、体制、制度などのソフト面です。改善が良いものにつながれば、職員の皆さんがより働きやすくなり、モチベーションが向上すると思います。皆さんが、日頃考えていることを提言し、運営に協力してくれることを望みます。

(1) 新型コロナウイルス対策について

いつ頃終息に向かうのか、全く先が見えません。

令和2年度、法人の主たる行事は、中止や規模縮小を余儀なくされました。また、業界の会議や研修の機会も奪われてしまい、大変な支障をきたしております。

職員の皆さんは、感染者は絶対出さないという強い使命のもと、毎日緊張の連続だと思えます。しかし、ここまで長引くと、緊張の糸が切れてしまう事も考えられます。気の緩みが一番の敵です。

もう一度冷静に、基本に帰りましょう。利用者の皆さんへの対応は当然ですが、建物には、業者を始め様々の方の出入りがあります。「新型コロナウイルス事業継続計画」を読み直し、防止を徹底しましょう。

行政や近隣施設との情報交換を密にし、今後の対応を決めていきたいと考えています。

(2) 情報交換・情報発信

- ① 職員・パートの皆さん全員と話をします。現場の課題・問題点、提案等を吸い上げ、それを共有したいと思います。
- ② 職員会議に出席し、情報交換をします。
- ③ 月に一回程度、理事長通信を発信します。活字離れの著しい現在、皆さんに読んでもらいたい書籍、関心を持ってもらいたい新聞、雑誌記事、日々の出来事、話題をテーマとします。
- ④ 部長・所長と定例のミーティングを行い、意思統一を図ります。
- ⑤ 情報が一方的で硬直化すると、ハラスメントが起きます。そうならない様、常に柔軟な対応をしていこうと考えています。

(3) 体制の見直しについて

- ① 現在空席の総合施設長を置き、経営全般の掌握、各所長の取りまとめを行います。
- ② 生産事業部については、定例のヒヤリングを行い、現場の意見、考え方を聴取します。また、毎月一回行われているプラスチック分科会に出席します。その上で、今後の生産事業部の在り方、方向性を定めていきたいと考えます。
- ③ カフェ・デ・ソルは、新型コロナの直撃を受けたこともあり、極めて苦戦しております。地域貢献の場という側面も十分勘案した上で、今後の在り方を考えたいと思います。

(4) 設備の老朽化対策

開業以来23年が経過し、老朽化に対する手立てを必要とする個所がいくつかあります。中沼ジョブセンターのエレベーター（改修工事手立て済み）、送迎車は待った無しですが、その他について洗い出し、優先順位をつけ、補助金、寄付金、銀行借入等を効率よく利用し対応する方針です。

(5) 所有農地

- ① 塚原の農地

当初は、入所施設建設用地として購入したものです。しかしながら、直前の法改正により、当初の目的を成就することなく現在に至っています。やむなく、利用者が、麦の栽培などを行っているものの、施設内の仕事量によっては、なかなか手が回りません。各方面との意見聴取を踏まえ、生産性に結び付く方向性を見つけないと考えると、

② 生駒の借地

当初、米、麦の生産を目的に借りたものです。しかしながら、去年はそれらの生産も無く、雑草の除去が大きな負担となっています。新たな借り先を捜すか、お返しするか、決めたいと考えると、

(6) 採用について

学校回り、事業所説明会、インターンシップ等は従来通りです。

今期より、採用時に、性格診断テストを試行します。幅広い、多様性のある人材の確保が目的です。

(7) 働き方改革について

時間外勤務を減らし、時間通りに帰り、休みをしっかりと取得する。これが目的ではありません。仕事とプライベート、いかに充実した毎日を送れるかです。趣味の時間を充実させる、資格取得の勉強時間に充てるなど、何ができるのか、皆で考えましょう。

(8) 賃金テーブルの見直し

毎年、最低賃金が上がっています。今後のことは予想が付きませんが、長期間使うことのできる賃金テーブル、キャリアパスを考え、職員の更なるモチベーション向上につなげたいと思います。

人事考課は、今年度から結果を職員・パートへフィードバックします。今後の自身のモチベーションアップにつなげてください。

(9) 後援会組織の見直し

現状、組織は硬直化しています。会社等を訪問し、裾野を広げ、充実させたいと思います。

(10) 市・町との関係

市・町が、福祉の現場の実情を理解し、支援が増えるよう、定例の情報交換の場を作っていきたいと考えると、

(11) 事業展開に係るガイドラインについて

先般厚労省より、社会福祉法人の合併、事業譲渡等の手続きと、留意点を整理したガイドラインが示されました。

我々は、当法人の強み、弱みを把握し、今後起こるであろうあらゆる可能性に対する確に対応できるよう、常日頃備えていかなければならないと考えると、

以上

法人の運営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労支援事業

利用者が、「自立」から「社会参加」へ進めることを第一に、一人ひとりの個性を生かした効率の良い生産活動を通じて、働くことから幸せを得られるよう、適性を見極めながら効果的な支援を行う。

そのために、目標工賃を定めること、幅広い作業種目を提供すること、そして、企業や、ハローワーク、障害者職業センター、その他福祉関係機関等との密な連携を図っていく。

また、プラスチック成形部門においては、現状をしっかりと分析し、効果的な作業収支の改善を図る。

② 生活介護事業

利用者一人ひとりの意思に基づき、その人に合った生活が送れるよう、きめ細かい支援を行う。地域行事への積極的な参加を通じ、地域の人たちに理解を深めてもらい、より生活しやすい環境を築いていく。

③ 共同生活援助事業

一人ひとりのニーズに応じた支援の充実を図り、「心地いい」生活が提供できるようにする。そして、それぞれが、自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う。

④ 居宅介護事業

自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体その他の状況およびその置かれている環境に応じて、適切に支援を行う。

⑤ 相談支援事業

相談に来られた方の本来持っている能力を見つけ、これを最大限発揮できる機会を増やし、支援を行う。また、地域の連絡会や研修会を通じ情報交換を行い、その受入体制を万全なものとする。

(2) 職員の教育・育成

① 資格取得について

上長は、それぞれの、スキル、経験年数に応じた資格取得を早めにながす。社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事任用、特にヘルパーの資格取得を支援する。

② 新入職員教育

現場のOJTがすべてである。担当職員をできる限り特定し、一定期間指導する。

③ 採用活動

従来通り、学校回り、事業所説明会、インターンシップ等を、きめ細かく実施する。今年度から、採用時に、性格診断テストを試行する。幅広い人材の確保を目指すこと

もに、職員の定着率の向上を図る。

④ 部長・所長との意見交換

理事長が、部長・所長と定例的に意見交換を行い情報収集する。

⑤ 後継者の育成

後継者問題は、法人にとって大きなリスクである。早い段階から、リーダー層に対するリーダーシップ教育が必要であり、現場としてこれを強く意識する。

⑥ 職員のメンタルヘルス

風通しの良い職場環境を維持するには、どうしたらいいか、現場で話し合う。定期的にメンタルヘルスチェックを行う。早めの気づき、早めの対応につなげる。また、ハラスメントに対する研修会を実施し、起こさない、起こさせない環境を作る。

(3) 社会的責任の遂行

① 増加する利用希望者をいかに受け入れるかについては、当法人だけの受入れ可否でなく、近隣の施設との連携を密にし、地域として、幅広い受入れ体勢をとる。

② 虐待防止については、管理職の研修参加とそのフィードバックを徹底する。そして、毎月全員に実施しているチェックリストにより、防止に努める。

③ 防犯については、原則年1回訓練を実施し、利用者、職員の事故が無いよう安全第一を徹底する。

④ リスクマネジメントについては、各事業所の状況を、原則年1回理事会へ報告する。

⑤ 生産事業部の活動に対する企業による定期監査、ISO9001監査の結果を理事会へ報告する。

(4) 地域における公益的な取組

① 地域の清掃活動・自治会活動へは、積極的に参加する。

カフェ・デ・ソルでの宅配弁当事業は、コロナ禍にあるため販路の拡大はできず、一定個数の販売を継続する。

② 地域包括支援センターや社会福祉協議会との連携によるカフェ・デ・ソルを拠点としたイベントは、コロナ禍により事実上止まっている。終息したのちこれを再開し、地域貢献を図りたい。また、拠点としてのカフェ・デ・ソルの開放について、その方向性を十分議論する。

(5) 法令遵守

① 法人として守るべき法令の遵守を徹底する。役員の勉強会を、原則年2回実施する。

② 毎年行われる法令改正に適切に対応する。関係職員に情報発信し、これを周知する。

(6) 財務安定化

今後、合併、事業譲渡、法人間連携等、起こりうる可能性について常に意識を持たねばならない。備えとしては、財務体質の強化である。必要な老朽化対策に対しては、優先順位をつけ、補助金、寄付金、金融機関支援等の資金手当てを明確にする。

同時に、一層の経費の削減、見直しが必須である。

2. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業種別 多機能型事業所(就労移行支援・就労継続支援 B 型)
2. 住 所 南足柄市中沼 8 3 2
3. 定 員 40 名(就労移行支援 6 名・就労継続支援 B 型 34 名)
4. 利用者数 51 名(就労移行支援 5 名・就労継続支援 B 型 46 名)
5. 職 員 数 所長 正職員 1 名(兼務)
管理者・サービス管理責任者 正職員 1 名(兼務)
就労移行支援 正職員 2 名、常勤パート 1 名
就労継続支援 B 型 正職員 3 名、常勤パート 2 名
非常勤パート 7 名
目標工賃達成指導員 1 名

6. 基本指針

就労移行支援

- (1) 就職を目指す障害者を支援します。
- (2) 社会人としてのマナーの習得を支援します。
- (3) 地域との共生を目指します。
- (4) 就労後もジョブコーチ支援を行います。
- (5) より質の高いサービスの提供をします。

就労継続支援 B 型

- (1) 能力の開発を支援します。
- (2) 就労移行支援へチャレンジできるように支援します。
- (3) 工賃が向上できるように努力します。
- (4) より質の高いサービスの提供をします。
- (5) 生産性を高める治具の開発を進めます。

7. 日中活動

就労移行支援・就労継続支援 B 型

(1) 奉仕活動(公益活動)

- ① 目的：ボランティア活動を通じて、地域貢献・地域交流を図る。
- ② 内容：事業所周辺、公共施設の美化活動（ゴミ拾い）を行う。

(2) 廃品回収(公益活動)

- ① 目的：リサイクル品の回収を通じて、資源の有効活用、ゴミの減量による環境への負担軽減を図る。
- ② 内容：リサイクル品（アルミ缶、古紙、段ボール等）の収集
ア 古紙・段ボールは定期的にコスモス学園松田センターに届ける。

イ アルミ缶は、適宜コスモス学園中沼ケアセンターに届ける。

(3) 健康管理

- ① 目的：健康状態を把握し、必要に応じて医療機関への情報提供を行う。
- ② 内容：ア てんかん発作の状況を把握し、医療機関への情報提供につなげる。
イ バイタルを測定し、看護師と連携し医療機関への情報提供につなげる。
ウ 作業前に毎日ラジオ体操を行い、体力の維持・増進につなげる。
エ 新型コロナウイルス感染予防として、出入り口でのアルコール除菌消毒の徹底、毎日の検温、マスクの着用促進を継続して取り組む。

(4) フリープログラム(余暇・運動)

- ① 目的：就労活動の合間の余暇として気分をリフレッシュする。健康管理、身体機能の維持向上を目指す。
- ② 内容：太極拳プログラムの実施（1回/月）、地域行事への外出活動を実施する。
※ 新型コロナウイルス感染状況を見極めながら再開を検討する。

(5) 地域交流

- ① 目的：地域との共生を目指し、事業所の活動および障害者への理解を深める。
- ② 内容：学園祭や納涼大会、日々の中活動などに一般ボランティアを募り、利用者との交流機会を設けていく。

8. 就労活動

就労移行支援

(1) ビジネスマナー

- ① 目的：教養、協調性、社会マナーの向上を目的とする。
- ② 内容：いろいろなシチュエーションを想定し、個々の課題、障害特性に合った支援プログラムを提供し社会性の向上に努める。

(2) 実習支援

- ① 目的：実際に経験を積むことで自信につなげていくとともに、現実的な課題と向き合い、よりスピーディーな支援につなげていく。
- ② 内容：ア 取引先への体験実習の要請
イ カフェ デ ソルでの接客訓練実習
ウ りんどう会館での清掃訓練実習
エ 実習受入企業の開拓

(3) 求職活動支援

- ① 目的：就労関係機関と連携し、対象者の地域における就労支援ネットワークを構築し、自分に合った企業・職種を探し、安心して働き続けられる環境を整える。
- ② 内容：ア 就労関係機関と連携し、職能評価や対象者にあった就業先を決める。
イ ハローワークと連携し、職業相談および求職活動を行う。

ウ 面接訓練・履歴書の書き方支援を行っていく。

(4) フォローアップ支援

- ① 目的：就労関係機関と連携し職場定着をめざす。
- ② 内容：ジョブコーチ支援・企業巡回支援・相談援助支援

就労継続支援 B 型

(1) プラスチック製品の検査・軽量・箱詰め・伝票作成・束ね

- ① 目的：利用されるすべての方が参加できる作業を提供するとともに、身体機能・注意力・観察力・集中力の向上を図る。
- ② 内容：ライン検査によるプラスチック製品の検査および計量器を用いての束ね、梱包作業、オリジナルソフトを活用してのパソコン伝票入力、在庫管理、計測作業を行う。

(2) 清掃活動

- ① 目的：一般就労に向けた清掃技術の獲得
- ② 内容：事業所、隣接するコスモス学園中沼ケアセンターの階段、廊下、洗面台、トイレの清掃、ゴミの回収を行う。共用部の食堂の清掃、ゴミの回収を行う。

(3) 施設外就労

- ① 目的：企業等に出向き、一般就労に向けた訓練を重ねて就労習慣、マナーの向上をめざす。
- ② 内容：ア K社と共同で、T社敷地内の育樹作業に参加する。
イ 南足柄市役所より依頼される封入作業に参加する。
ウ りんどう会館での清掃を共同受注にて請け負う。
エ ともしびショップゆうにて接客業を学ぶ。
オ H社での施設外就労に参加する。
カ O社御殿場工場の敷地内除草作業を請け負う。

(4) 農園活動

- ① 目的：観察力、注意力、体力の維持・増進を図る。
- ② 内容：小麦の栽培を行い、きんたろううどんの原料を収穫し、乾麺に加工し販売する。

(5) その他

- ① 作業を通じて能力の開発、適応力の向上をめざし、治具の開発、作業手順書の作成を行う。
- ② 松田センターと連携を取り、上記(1)～(5)以外にも積極的に地元企業との連携を図り新たな作業を取り入れ、更なる工賃向上につなげる。
- ③ 令和3年度の目標工賃(時給)は、235円とする。

9. 余暇活動(行事)

(1) レクリエーション

- ① 目的：地域の公共資源などを利用して、利用者同士の親睦を深める。
- ② 内容：余暇行事の実施および近隣地域の公共資源の活用

(2) バス研修旅行

- ① 目的：社会見学、就労研修を目的とし、観察力を高め、感受性を豊かにする。また利用者同士の親睦を深める。
- ② 内容：貸し切りバスにて研修を盛り込みながら普段行かない場所へ日帰り旅行を行う。

(3) クリスマス会

- ① 目的：利用者同士で日々の労をねぎらい、事業所でパーティ形式の親睦会を行う。
- ② 内容：利用者出し物、職員出し物、ボランティアによるアトラクション等。

(4) クラブ活動

- ① 目的：余暇を楽しむ。利用者同士の親睦を深める。
- ② 内容：月に1回（土曜営業日）希望のクラブにて活動を行う。

10. 職員研修

- (1) 先進的な支援を行う施設での現場研修に参加しスキルアップを図る。(1~2名/年)
- (2) 新人職員を対象に人権研修を行う。
- (3) 各種団体の研修に参加する。(内容・必要に応じて)
- (4) 弁当事業の発展に向けて同事業を行っている施設の見学、研修に行く。
- (5) 自主研修ステップ（法人内勉強会）に積極的に参加する。
- (6) 事業所内研修で、介助スキル研修・品質管理教育を実施する。

11. 事業所運営

- (1) 研修等を通じて支援サービスの質の向上・充実に努める。
- (2) リスクマネジメント委員会を活用して、虐待防止・人権擁護の徹底を図る。
- (3) 防犯、防災対策を検討し、利用者が安心して通所できる環境の向上を目指す。
- (4) 法令の遵守（理解）を徹底する。
- (5) 避難（火災・地震想定）・通報訓練を2回/年・消火訓練を1回/年以上実施する。
- (6) 残業・経費削減を徹底する。

12. 地域生活支援事業

日中一時支援

- (1) 日中活動の支援を行う。
- (2) 午後4時から午後7時まで、延長利用の支援を行う。

- (3) 延長利用は原則として1日3名までとし、送迎は行わない。
- (4) 利用日は月曜日から金曜日（月1回土曜日の）通所日とする。

1.3. 令和3年度活動スケジュール

地域活動(公益活動)

月	行事名	学園行事、販売
5月	県西地区みんなのつどい	地域行事
6月	南足柄市環境フェア	リサイクル活動展示
7月	納涼大会	学園行事、販売
10月	学園祭	学園行事、販売
11月	中沼自治会文化祭 にぎわい、ふれあい商工祭 いきいき健康フェスタ	地域行事、販売
12月	県西地区障害者文化事業	地域行事、作品展示、販売

1.4. 支援他

- (1) 個別支援計画面談(4月、10月、3月)
- (2) ジョブセンター会議(毎月1回)
- (3) 工賃会議(7月、1月)
- (4) 利用者検診…健康診断(年1回)、内科(年2回)、歯科(年1回)、インフルエンザ予防接種(11月)

3. コスモス学園中沼ジョブセンター(生産事業部)

1. 事業内容 就労支援事業

2. 職員数 正職員1名、常勤パート7名

3. 基本指針

- (1) 生産活動を通じて、売上・利益の拡大を図り、利用者工賃向上の原資とする。
- (2) プラスチック部品の検査・梱包など作業提供を行う。
- (3) プラスチック成形工場内での作業を通じ、利用者の就労意欲向上を図る。
- (4) プラスチック成形事業の持続的成長のため、人材育成・設備の強化を図り経営を安定化させる。

4. 目標達成の手段・具体的方策

(1) 令和2年度比100%以上の売上を目指す。

新型コロナウイルス感染拡大の影響、井上樹脂株式会社・中谷産業株式会社等の受注低下により引き続き厳しい状況が見込まれる。下記方策を実施することにより令和3年度の目標を達成する。

① 既存顧客からの受注製品増加

ア A社 … 自動車電池部門・産業用電池部門

イ B社 … 自動車部品

ウ C社 … 新規エンドユーザーの開拓

エ E社 … いすゞトラック向け製品の受注品目増加

② 営業力の強化・新規顧客の開拓

ア 社会福祉法人と親和性の高い業種への営業活動（例）玩具系、医療系

イ 技術力を高め小ロット多品種受注に対応させる。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

ア 工場稼働時間内での稼働率向上に向けて効率的な生産計画を作成する。

イ 利益率向上のため、無人稼働時間延長、製品検査・仮梱包・二次加工の自動化を進める。

④ プラスチック成形品の製造+組立の受注等シームレスな営業活動を行う。

(2) 組織体制の強化を図る

① 人材の雇用・育成をする。

ア 将来のプラスチック成形工場を担える人材の育成

イ 成形オペレーターの確保

② プラスチック分科会を中心に今後の長期事業計画について継続的に検討する。

ア 金融機関等の外部コンサルティングによる専門的なアドバイスを受ける。

- ③ プラスチック成形付帯作業の効率化を計る。
 - ア 現状職員が実施している作業を利用者作業として移管する。
(例)製品検査・梱包・納品準備
 - イ 治具・補助具の開発
- ④ 生産活動のデータ管理（稼働率・良品率等）を行う。
新規受注・生産・在庫・出荷管理ソフトの稼働
- ⑤ 職員教育の実施
 - ア 品質管理教育
 - イ 内部監査員の監査スキル向上
 - ウ 防災・安全教育
 - エ 成形技術者のレベルアップ教育

(3) 適切な設備投資、修繕を行う

- ① 設備投資計画
 - ア 製品品質向上 … 検査器具の充実
 - イ 原材料・製品・金型保管設備の充実
 - ウ 成形機稼働時間延長 … 自動化設備
 - エ 検査体制の整備 … 検査場所の整備
- ② 修繕が必要な設備
 - ア エアコンプレッサーのメンテナンス、クレーンの定期メンテナンス
 - イ 成形機・付帯設備
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

(4) 品質管理体制の強化

- ① ISO9001 の効果的な運用を進める
 - ア 内部監査員の監査スキルの向上
 - イ ISO 推進委員会議の定期的な実施
 - ウ 内部監査技術研修の実施
- ② 部署職員への品質研修を実施する。
- ③ 成形品の測定データを分析し、安定生産に役立てる。
- ④ 既存作業の工程改善と品質向上を図る。
 - ア 新しい計量器の導入による数量管理方法の改善
 - イ 製品識別・製品管理方法の改善

(5) 資格・免許の取得（作業に従事する者が対象）

- ① フォークリフト技能講習

- ② クレーン安全衛生特別教育
- ③ 玉がけ技能講習
- ④ プラスチック成形(射出成形作業)技能士資格他

(6) 令和3年度重点取組事項

- ① 新型コロナウイルス感染拡大等による経済情勢の悪化による売上への影響を最小限とすべく営業活動を活発化させる。
- ② 品質管理強化のため既存作業の再点検と改善を行う。

4. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業種別 生活介護
2. 住 所 南足柄市中沼 8 3 1-1
3. 定 員 27名
4. 利用者数 35名
5. 職 員 数 所長 正職員 1名(兼務)
管理者・サービス管理責任者 正職員 1名(兼務)
支援員 正職員 4名、常勤パート 10名、
非常勤パート 7名、看護師 1名

6. 基本指針

- (1) 安心と笑顔あふれる明るい生活の場を提供します。
- (2) その人らしさを尊重し、利用者主体の支援に努めます。
- (3) 利用者の障害特性に考慮した制作活動の機会を提供します。
- (4) 人と地域と自然の中で社会の一員として共に成長し合える環境作りに取り組みます。
- (5) より質の高いサービスの提供をします。

7. 日中活動

(1) スヌーズレン

- ① 目的：落ち着ける光や音、匂いなどを用いてリラクゼーションを図る。
- ② 内容：部屋を薄暗くして、お香やプロジェクターなどの機材で環境設定をし、横になってゆったりと過ごす。

(2) 運動・ストレッチ

- ① 目的：楽しく身体機能の維持向上を図る。
- ② 内容：歩行や音楽にあわせての体操など個々に合わせたプログラムに継続して取り組み

(3) 音楽・カラオケ

- ① 目的：音楽を楽しみながらリフレッシュする。
- ② 内容：好きな曲に合わせて楽器で音を出したり体を動かしたりする。

(4) DVD 鑑賞

- ① 目的：映画を楽しく鑑賞しリラックスする。
- ② 内容：好きな映画を選択してもらい上映する。
見たい映画を利用者から聞き、種類を増やす。

(5) 外出活動

- ① 目的：様々な場所へ行き、気分転換を図る。

- ② 内容：公園を歩行し、季節を感じながら体を動かす。
- (6) アニマルセラピー
 - ① 目的：犬と触れ合うことによってリラックス効果を得る。
 - ② 内容：セラピー犬に触れたり、一緒に室内歩行をする。
室内だけでなく、公園でのアニマルセラピーにも取り組んでいく。
- (7) 伝統芸能
 - ① 目的：茶道や華道の作法を学ぶとともに、落ち着いた時間を提供する。
 - ② 内容：茶道・華道の基本を引き続き教えてもらう。
- (8)アロマセラピー
 - ① 目的：リラクゼーションを図る。
 - ② 内容：アロマをたいた部屋の中で、横になってマッサージを受ける。
- (9) 地域交流
 - ① 目的：障害や事業所の理解を深める。
 - ② 内容：コロナ終息後には再び近隣地域での買物外出や地域行事に参加する。
- (10) 全般
 - ① 目的：利用者のニーズに応じた支援プログラムの充実を図る。
 - ② 内容：余暇活動のレポーターを増やし、利用者の強みや好きなことが引き出せるようにする。

8. 就労活動

- (1) 制作活動
 - ① 目的：発想力を引き出し、様々な作品を制作することにより、作品を通じて社会参加を行う。
 - ② 内容：アクセサリ、ビーズ製品、アート作品の制作を行うことにより、更なる製品の商品化を進めていく。
- (2) リサイクル作業
 - ① 目的：集中力、作業意欲向上を図る。
 - ② 内容：アルミ缶回収やコスモス学園中沼ジョブセンター生産事業部の受注作業を行う。

9. 余暇活動(行事)

- (1) バス旅行
 - ① 目的：利用者同士の親交を深め、観察、体験を通じて感受性を豊かにする。
 - ② 内容：貸し切りバスで普段行けないところへ日帰り旅行をする。
- (2) クラブ活動
 - ① 目的：利用者同士の交流を深め、楽しく活動する。

- ② 内容：ドライブ、映画、音楽、クラフト、卓球の中から一つ選択のうえ、月1回活動する。

10. 職員研修

- (1) 先進的な支援を行う施設での現場研修に参加しスキルアップを図る。
- (2) 新人職員を中心に人権研修に参加する。
- (3) 各種団体の研修に参加する。
- (4) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修に参加する。
- (5) 自主研修ステップに参加する。
- (6) 事業所内研修で職員の資質向上を図る。

11. 事業所運営

- (1) 研修等を通じて支援サービスの質の向上・充実に努める。
- (2) リスクマネジメント委員会を活用して虐待防止、人権擁護の支援徹底を図る。
- (3) 防犯、防災対策を検討し、利用者が安全で安心して過ごせる環境の向上を目指す。
- (4) 法令の遵守、理解を徹底する。
- (5) 避難（火災、地震想定）・通報訓練を年2回、消火訓練を年1回実施する。
- (6) 経費削減を徹底する。

12. 地域生活支援事業

日中一時支援

- (1) 日中活動の支援を行う。
- (2) 午後4時～7時まで延長利用の支援を行う。
- (3) 延長利用は原則として1日3名までとし、送迎は行わない。
- (4) 利用日は月曜日～金曜日の通所日とする。

13. 令和3年度活動スケジュール

地域活動(公益活動)

月	行事名	内容
6月	南足柄市環境フェア	リサイクル活動展示説明・販売
7月	納涼大会	学園行事・販売
8月	中沼自治会夏祭り	販売
10月	学園祭	販売
	あつまれフェスタ	販売
11月	中沼自治会文化祭	作品展示
	秦野市民の日	販売

12月	いきいき健康フェスタ 県西地区障害者文化事業	販売 作品展示・活動展示説明
2月	ちいき・ふくし博	作品展示

14. 支援他

(1) 面談、支援会議、研修、訓練

- ① 個別支援計画面談（4月、10月、3月）
- ② ケアセンター会議（月1回）
- ③ ケース会議（都度）
- ④ 本人支給金会議（6月、2月）
- ⑤ ストレッチ講習（年3回）

(2) 外部団体の活用

コロナ終息後、新たにボランティアを探し、利用者のニーズに合った活動を取り入れられるよう検討する。

5. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業種別 居宅介護
2. 住 所 南足柄市中沼 8 3 1 - 1
3. 職 員 数 所 長 正職員 1 名(兼務)
管理者・サービス提供責任者 正職員 1 名(兼務)
従業員 正職員 2 名、非常勤パート 6 名
兼務正職員 7 名、兼務非常勤パート 1 名

4. 基本指針

- (1) 人権を尊重し、信頼と思いやりを持って質の高いサービスを提供します。
- (2) 地域社会と連携し、社会参加と交流を深め温かなサービスの提供をします。
- (3) 一人ひとりの思いに応えるよう常に利用される方の立場になってサービスの提供をします。

5. 活動内容（ヘルパー業務）

(1) 日常生活支援

- ① 目的：利用者一人ひとりの心身の状況、特性をふまえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が継続でき安心して生活できるように支援する。
- ② 内容：身体介護支援では、入浴、食事、トイレでの自立に向けた支援、家事援助支援では、掃除、洗濯、調理での自立に向けた支援を行う。

(2) 適切なサービス提供

- ① 目的：利用者の意向を尊重し、心身の状況やその環境に応じて、課題の解決、サービスの充実を図る。
- ② 内容：居宅介護計画書を作成する。支援内容変更においてスムーズな支援体制が組めるよう相談支援事業所と連携を密にしていく。

(3) 人権擁護

- ① 目的：利用者の意思および人格を尊重し、その人らしい自立した生活ができるよう支援する。
- ② 内容：虐待防止チェックを定期的実施。法人内研修、外部研修にも積極的に参加して人権擁護の意識を高める。

(4) 地域連携

- ① 目的：市町村、医療機関、居宅介護事業所、相談支援事業所等の連携強化を図る。
- ② 内容：より良い支援サービスの提供ができるよう、関係機関との担当者会議、他事業所との情報交換の充実を図る。あんしんヘルパーネット会議も継続的に参加して地域連携を密にしていく。

(5) 守秘義務の徹底

- ① 目的：利用者および家族の知り得た情報の秘密を厳守する。
- ② 内容：サービス担当者会議等で個人情報を用いる場合があるので、契約時に同意書をとる。守秘義務についての研修を定期的実施する。

6. 職員研修

- (1) 支援、介護技術向上を図るため OJT を定期的実施する。
- (2) 法人内研修(事例検討会)を定期的実施する。
- (3) 利用者一人ひとりの特性に合わせたサービスの提供ができるよう、アセスメントをしっかりと行い職員間で共有できる勉強会を実施する。
- (4) 外部団体等が主催する研修に参加する。

7. 事業所運営

- (1) 法人内各事業所との連携を密にして、協力体制の強化を図る。
- (2) リスクマネジメント委員会を活用して、虐待防止・人権擁護の徹底を図る。
- (3) 法令遵守(理解)を徹底する。
- (4) 職員増に伴い、引き続き在宅介護サービス拡充、コスモスホーム介護サービスに力を入れていく。
- (5) 基本理念、基本方針の周知徹底を図る。
- (6) コロナ感染対策の強化を徹底する。

6. コスモス学園松田センター

1. 事業種別	多機能型事業所(生活介護・就労継続支援B型)	
2. 住 所	足柄上郡松田町松田惣領806-1(生活介護) 足柄上郡松田町松田惣領824-1(就労継続支援B型)	
3. 定 員	40名(生活介護18名・就労継続支援B型22名)	
4. 利用者数	53名(生活介護25名・就労継続支援B型28名)	
5. 職 員 数	所長・管理者	正職員1名(兼務)
	サービス管理責任者	正職員1名
	生活介護	正職員4名、常勤パート5名、 非常勤パート3名、看護師7名
	就労継続支援B型	正職員2名、常勤パート2名 非常勤パート2名 目標工賃達成指導員1名

6. 基本指針

- (1) 利用者本位の支援を行います。
- (2) 利用者の特性を考慮した活動の場を提供します。
- (3) 奉仕活動や製作活動で地域貢献・社会参加を図ります。
- (4) 工賃の向上に努めます。
- (5) 職員のスキルアップを図り、質の高いサービスの提供をします。

7. 日中活動

生活介護

(1) スヌーズレン

- ① 目的：感覚を刺激しながらリラクゼーションを図る。
- ② 内容：暗室を利用して、お香や電飾などの機材で環境を設定する。

(2) 運動

- ① 目的：身体機能の維持、向上を図る。
- ② 内容：歩行やストレッチなど個々に合わせた内容に取り組む。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

- ① 目的：音楽を楽しみながらリフレッシュする。
- ② 内容：楽器で音を出したり、好きな曲に合わせて体を動かしたりする。

(4) DVD鑑賞

- ① 目的：楽しく映画を鑑賞する。
- ② 内容：好きな映画を選択して上映する。

(5) 外出活動

- ① 目的：様々な場所へ行き気分転換する。
- ② 内容：季節に応じた場所や公共施設、商業施設で散歩したり、買い物をする。

(6) 奉仕活動（公益活動）

- ① 目的：ボランティア活動を通して、地域貢献、地域交流を図る。
- ② 内容：事業所周辺、松田町パークゴルフ場などの美化活動（ゴミ拾い）を行う。

(7) 足湯（11月～2月）

- ① 目的：血行促進を促し、体温調整を行う。
- ② 内容：入浴剤を入れたお湯に5分ほど足を入れてマッサージを行う。

(8) 地域ボランティアとの交流

- ① 目的：障害や事業所の理解を深める。
- ② 内容：ア ダンベル体操（運動）、大正琴（演奏）、クレッシェンド（演奏）等のボランティアの来所による交流。
イ 地域に積極的に向き、一般ボランティアと交流する機会を作る。

(9) 法人内事業所との交流

- ① 目的：コスモス学園中沼ケアセンターと交流の場を設定し、プログラムの充実を図る。
- ② 内容：セラピー犬、茶道、ダンベル体操、その他様々なプログラムにおいて交流する機会を作る。

(10) 日中活動全般

- ① 目的：利用者のニーズに応じた支援プログラムの充実を図る。
- ② 内容：医療的ケア対象者の受入体制の整備（看護師・支援員・保護者との連携強化）する。

就労継続支援B型

(1) 奉仕活動(公益活動)

- ① 目的：ボランティア活動を通じて、地域貢献・地域交流を図る。
- ② 内容：事業所周辺、松田パークゴルフ場などの美化活動(ゴミ拾い)を行う。

(2) 廃品回収(公益活動)

- ① 目的：リサイクル品の回収を通じて、資源の有効活用、ゴミ減量による環境への負担軽減を図る。
- ② 内容：リサイクル品(古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等)の収集・整理。
月1回、松田町指定の再生資源回収業者が回収に来る。

(3) 歩行

- ① 目的：健康管理(体重増加の防止・身体機能の維持向上を図る)
- ② 内容：定期的に歩行を行い、事業所周辺や、川音川河川敷、小田原アリーナランニ

ングコースを活用する。

(4) フリープログラム

- ① 目的：就労活動の合間の余暇として気分をリフレッシュする。
- ② 内容：地域行事への外出活動等を実施する。

8. 就労活動

生活介護

(1) 制作活動

- ① 目的：発想力を引き出し様々な作品を制作する。制作を通して社会参加する。
- ② 内容：ビーズアクセサリ、刺しゅう、編み物製品の制作等。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

- ① 目的：身体機能・注意力・集中力の向上を図る。
- ② 内容：コピー機部品の分解（リサイクル）・検査を行う。

(3) 重機部品の組付け・検査

- ① 目的：身体機能・注意力・集中力の向上を図る。
- ② 内容：重機部品の組付け・検査を行う。

(4) その他

- ① 新規作業を取り入れ、就労継続支援 B 型と連携し、利用者の働く意欲の喚起につながる支援を行う。
- ② 利用者個々・集団で行う制作品（四季折々の作品等）の作成に力を入れ、地域の展示会へ出展する。

就労継続支援 B 型

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

- ① 目的：身体機能・注意力・集中力の向上を図る。
- ② 内容：コピー機部品の分解(リサイクル)・検査を行う。

(2) プラスチック製品の検査・計量

- ① 目的：身体機能・注意力・観察力・協調性・集中力の向上を図る。
- ② 内容：プラスチック製品の検査・計量を行う。

(3) 重機部品の組付け・検査

- ① 目的：身体機能・注意力・集中力の向上を図る。
- ② 内容：重機部品の組付け・検査を行う。

(4) クリーニングされたタオルの選別、折り込み作業

- ① 目的：技術力の向上・納期に対する意識付け・利用者工賃向上を図る。
- ② 内容：クリーニングされたタオルの選別、折り込み作業を行う。

(5) 自動車部品のリサイクル加工

- ① 目的：技術力の向上・納期に対する意識付け・利用者工賃向上を図る。
- ② 内容：自動車部品のリサイクル加工（芯材組付け）を行う。

(6) 清掃活動

- ① 目的：決められた場所の清掃業務を隅々まで行い、注意力と技術力の向上を図り、将来的な施設外就労に結び付ける活動を行う。
- ② 内容：施設内の掃除掛け、掃き掃除、トイレ清掃、ゴミ出し等行う。

(7) 施設外就労

- ① 目的：企業と契約を締結し、一般就労に向けた訓練を兼ねて作業を行う。
- ② 内容：F社の仕事で小田原地域の仕分、H社の仕事で梱包作業、組立作業、K社の仕事でブルーベリー摘み取り、G社の仕事で草刈り等。

(8) 自主生産品作成

- ① オリジナル製品を作成して創造性を養う。
- ② アクセサリービーズ製品、縫製製品などを作成して地域行事、委託販売場所にて販売する。

(9) その他

- ① 利用者の作業選択肢が広がるよう地元企業や官公庁等に積極的に営業活動を展開し、新規作業を取り入れる。
- ② 利用者の作業を通じての能力開発、適応力を上げる支援を行う。
- ③ コスモス学園中沼ジョブセンターと連携を取り、新規作業を取り入れ、作業の充実を図る。
- ④ 品質の専門家からのアドバイスを活用して、生産力・品質の向上をめざす。
- ⑤ 就労活動に対する意識の向上を図るため、企業見学、ビジネスマナーなど就労活動に向けた取組を実施する。
- ⑥ 令和3年度の目標工賃(時給)は215円とする。

9. 余暇活動(行事)

(1) レクリエーション

- ① 目的：地域の公共資源などを利用して、利用者同士の親睦を深める。
- ② 内容：カラオケ、博物館見学、パークゴルフ場等近隣地域の公共資源の活用。

(2) バス研修旅行

- ① 目的：利用者同士の親睦を深めながら観察力を高め、感受性を豊かにする。
- ② 内容：利用者のニーズを汲み取り、日中活動では行けないところへ日帰り旅行を実施する。

(3) クリスマス会

- ① 目的：利用者同士で日々の労を労い、事業所でパーティ形式の親睦会を行う。

② 内容：利用者出し物、ボランティアによる演奏会、プレゼント演出等。

(4) クラブ活動

① 目的：余暇を楽しむ。利用者同士の親睦を深める。

② 内容：月1回、希望のクラブにて活動を行う。

10. 職員研修

(1) 先進的な支援を行う施設での現場研修に参加しスキルアップを図る。

(2) 人権研修(法人内・各種団体)に参加する(新人職員は必須、他の職員は必要に応じて参加)。

(3) 各種団体の研修等に参加する(内容・必要に応じて参加)。

(4) リーダーシップ研修に参加する(リーダー層対象、法人内・各種団体)。

(5) ステップ(法人内勉強会)を有効活用する。

(6) 事業所内研修で職員の資質向上を図る。

11. 事業所運営

(1) 研修を通じて支援サービスの向上・充実を図る。

(2) リスクマネジメント委員会等を活用して、虐待防止・人権擁護を意識した支援の徹底を図る。

(3) 必要な防犯、防災対策を検討して、利用者が安全で安心して過ごせる環境の向上をめざす。

(4) 法令の遵守(理解)を徹底する。

(5) 事業所の老朽化に伴い、必要な修繕を実施して利用者の過ごしやすい環境を維持する。

(6) 経費削減を徹底する。

12. 地域生活支援事業

日中一時支援

(1) 日中活動の支援を行う。

(2) 午後4時~午後7時まで、延長利用の支援を行う。

(3) 延長利用は原則として1日3名までとし、送迎は行わない。

(4) 利用日は月曜日~金曜日の通所日とする。

13. 令和3年度活動スケジュール

地域活動(公益活動)

月	行事名	内容
4月	延命寺ぼたん祭り	地元行事・販売

5月	寄自然休養村若葉まつり	地元行事・販売
7月	納涼大会	学園行事・販売
8月	まつだ観光祭り	地元行事・販売
10月	学園祭	学園行事・販売
11月	まつだ産業まつり	地元行事・販売
	Holoholo 朝市	地域行事、販売
	中沼自治会文化祭	地域行事、販売
12月	障害者週間キャンペーン	地元行事、作品展示
	県西地区障害者文化事業	地域行事、作品展示、販売
3月	ふくしあったかフェスタ	地元行事、販売
	ちいき・ふくし博	地域行事、作品展示

14. 支援他

- (1) 個別支援計画面談(4月、10月、3月)
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議(毎月1回)
- (3) 生活介護・就労継続支援B型部署会議(毎月1回)
- (4) 工賃評価会議・本人支給金会議(生活介護…2月、就労継続…5月・10月)
- (5) 医療ケア会議(毎月1回)
- (6) ストレッチ講習(年3回)
- (7) 利用者検診…健康診断(年1回)、内科(年2回)、歯科(年1回)、インフルエンザ予防接種(11月)
- (8) 避難(火災・地震・水害想定)・通報訓練…年2回、消火訓練…年1回以上実施
- (9) 喀痰吸引研修(随時)

7. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業種別 特定相談支援、指定障害児相談支援
2. 住 所 足柄上郡松田町松田惣領824-1
3. 職員数 所長・管理者 正職員1名(兼務)
相談支援専門員 正職員1名
兼務者1名
4. 基本指針
 - (1) 個々の意思を尊重した相談支援を行います。
 - (2) 日常生活および社会生活を支え、課題の解決や適切なサービス利用ができるよう計画を立てます。
 - (3) 本人の強みを見出し地域の支援をより多く活用できるよう支援します。
5. 活動内容
 - (1) サービス等利用計画の作成
 - ① 相談者の個性や環境に適した利用計画を立てる。
 - ② 相談者の意思決定が適切に行われるよう情報提供、体験機会を作り、意思を尊重した利用計画を立てる。
 - ③ 相談者の強みに着目し、相談者の力が生かされるよう利用計画を立てる。
 - (2) モニタリング
 - ① 厚生労働省の定める期間ごとの他、必要に応じて行う。
 - ② 本人、家庭、事業所等の連絡を継続的に行う。
 - ③ 必要に応じて、計画変更、若しくは福祉サービス事業所や関係機関との連絡調整に努める。
 - (3) 地域その他機関とのネットワーク活動
 - ① 行政機関、福祉事業所、医療機関、他の相談支援事業所との連携を深める。
 - ② 足柄上地域自立支援協議会相談支援部会の運営、会議に参加して地域の相談支援ネットワークに積極的に関わる。
 - ③ 地域生活支援拠点事業の開始を見据え、スムーズな連携がとれるように必要な会議、打ち合わせに参加し、情報収集や関係を築いていく。
 - ④ 地域づくりの協議会、会議に参加し、障害者の地域生活を支えられる地域づくりを進めていく。
6. 職員研修
 - (1) 事例検討会や権利擁護ネットワーク研修など多職種の集まる研修に参加して、スキルアップや様々な職種の関係者とのつながりを作る。

- (2) 法人内の研修に積極的に参加する。
- (3) リーダーシップ研修に参加する(リーダー層対象、法人内、各種団体)
- (4) 新たな相談支援専門員の育成のため、法人内事業所職員に広く相談支援に関わる研修への参加を呼びかけていく。

7. 事業所運営

- (1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める。
- (2) 法令遵守を徹底する。
- (3) 日程調整、書類作成等のプロセスを常に見直しサービスの効率化を進める。
- (4) 経費削減を徹底する。
- (5) 報酬改定に合わせた加算取得を進めていく。
- (6) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

8. その他

- (1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施
- (2) コスモス学園松田センター・あすなろ合同会議(月1回)
- (3) あすなろ部署会議(月1回)

8. コスモスホーム

1. 事業種別 共同生活援助(介護サービス包括型)・短期入所(空床利用型)
2. 住 所 南足柄市中沼162-4
3. 定 員 30名
4. 利用者数 29名(内訳 ひだまり:6名、こもればいⅠ:5名、こもればいⅡ:6名、
やまびこⅠ:6名、やまびこⅡ:6名)
5. 職 員 数 所長・管理者 正職員1名(兼務)
サービス管理責任者 正職員1名
生活支援員 正職員3名、非常勤パート23名
看護師1名

6. 基本指針

- (1) 利用者の人権を第一に、大切とするサービスを提供します。
- (2) 一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援します。
- (3) 利用者の状態に応じた柔軟なサービスを提供します。

7. 支援内容

- (1) 障害者の地域生活・地域移行の「受け皿」としての役割
 - ① 目的：本人の意思に基づき適切な支援を受けながらグループホームで「暮らす」をつなげていく。
 - ② 内容：地域生活を支援する観点から行政、医療と福祉、様々な専門機関と地域との重層的な連携と人材育成。
- (2) 日常生活能力の維持・向上
 - ① 目的：利用者の障害特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように適切な支援をする。
 - ② 内容：自立に向けて食事、掃除、洗濯、買物、着脱衣等の日常生活関連動作の支援。入浴、排泄介助、健康管理、服薬管理、金銭管理、相談、会話等を通じたコミュニケーション支援。
- (3) 本人の望むサービスの提供（本人支援）
 - ① 目的：利用者の意向を尊重し、心身の状況やその環境に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう支援する。
 - ② 内容：個別支援計画の作成と見直しを行う。モニタリングの実施。
- (4) 利用者の重度化・高齢化、保護者の高齢化に関する対応
 - ① 目的：事業所として可能な限りの支援を実施する。
 - ② 内容：個別支援計画の見直し、相談支援事業所および関連機関との密な連携、必要なサービスの提供をする。

(5) 日中支援

- ① 目的：心身の状況等により予定していた日中活動サービス等を利用できなかった利用者に対する昼間の時間帯における支援を提供する。
- ② 内容：食事の提供、様子観察、医療連携、関係機関への連絡調整等を行う。

(6) 通院同行

- ① 目的：利用者の健康促進、維持に努める。
- ② 内容：定期、緊急の通院同行を行う。

(7) 地域活動

- ① 目的：地域行事への参画と交流を深め暮らしの充実を図る。
- ② 内容：地域…南足柄市美化デー(6月)、金太郎祭り、中沼自治会夏祭り(8月)、中沼自主防災訓練(9月)、中沼自治会文化祭展示・芸能発表会(11月)、日向公民館祭(11月)、法人内事業所地域活動への参画(随時)

(8) 余暇活動

- ① 目的：法人内外の利用者間の親睦を深め気分転換や内面的な豊かさの向上を図る。
- ② 内容：法人内行事…納涼大会(7月)、コスモス運動会(9月)、学園祭(10月)、バス旅行(11月)・クリスマス会(12月)、レクリエーション(2月)
県西地区行事…みんなのつどい(5月)、県西地区障害者文化事業(12月)、ワクワクのりのりコンサート(3月)
事業所内行事…バーベキュー大会(10月)、忘年会(12月)、誕生会・外出・室内レクリエーション等(毎月)

8. 職員研修

- (1) 新入職員を対象にした人権研修(法人内外)を継続して行う。
- (2) リーダーシップ研修に参加する。(リーダー層対象・法人内外)
- (3) 一般職員のスキルアップ研修に参加する。
- (4) 「ステップ」(法人内自主研修会)に参加する。
- (5) OJTにより職員の資質向上を図る。

9. 事業所運営

- (1) 法令遵守と理念および基本方針を徹底する。
- (2) 健全なる経営のため、事業所全体の利用率向上をめざす。
- (3) 研修等による利用者サービスの質的向上に努める。
- (4) リスクマネジメント委員会等を活用して虐待防止・人権擁護を意識した支援の徹底を図る。
- (5) 利用者・職員の安全第一を徹底する。(防犯および事業所設備の維持管理、衛生管

理、感染症対策強化)

- (6) 各事業所等との更なる連携を図る。
- (7) コスト削減の徹底を図り、業務改善に取り組む。
- (8) 総合防災訓練を年2回(5月、2月)実施する。

10. 支援他

- (1) コスモスホーム会議(毎月1回)
- (2) クルー会議(毎月1回)
- (3) メンバー会議(毎月1回)
- (4) ケース会議(随時)
- (5) 個別支援計画面談(4月、10月、3月)
- (6) 目標利用率 85%

11. 短期入所(空床型)

- (1) 利用者の安心、安全のための環境整備に努める。
- (2) 家庭環境を十分踏まえ、自立している機能の低下が起きないように適切な技術をもって残存機能の維持、向上を図る。
- (3) 利用者の人格に配慮し、本人が必要とするサービスの提供を行う。
- (4) 利用者の清潔保持に努める。
- (5) 栄養ならびに利用者の身体の状況および嗜好に配慮し、適切な時間に食事を提供する。

